
笑う男は笑わせる男と怒らせる男で二人とも笑わせる仕事をしているが仕事時間外でも笑わせ

フリスタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

怒る男と笑う男は笑わせる男と怒らせる男で二人とも笑わせる仕事をしているが仕事時間外でも笑わせている。

【Nコード】

N 6 5 2 6 Y

【作者名】

フリスタ

【あらすじ】

どうかでこんな話聞いたな〜って思ってた書いてみた。
問題があれば即時消す作品です。

（前書き）

どうかでこんな話聞いたな〜って思って手を加えて書いてみた。
問題があれば即時消す作品です。

とある一室。一人の男が部屋に入る。男は部屋を見渡し、何気なくクローゼットや個室のトイレなどを開けては確認する。「ここには何があり、このスイッチを入れるとこうなる」と確認しているようだ。男は一通り見終わると、特に何も無い部屋だと思い イスに座った。そこで男は隣の机の脇に 一つの箱を見つける。ティッシュ箱を2つ重ねたぐらいの小さな箱だ。する事の無くなった男はその箱を開けた。

——数分後。その部屋にもう一人の男が入って来た。少し寒いと感じた男はイスに掛けてあつた膝掛けを取ってイスに座り、膝掛けを膝から被せた。間隔を空けてイスに座る男に視線を移す。男はする事が無く暇そうにドーナッツを頬張っている。そう、先ほどの箱の中身はドーナッツだった。甘いモノに目が無い男はドーナッツの在り処を聞くことにした。それはとてもにこやかな表情だった。

「ドーナッツどこにあるん？ どこにあつたん？」

「……………（クイッ）」

聞かれた男は無言のままクローゼットを指さす。男は膝掛けを取りすぐさまクローゼットを開けた。しかし、当然あるわけが無い。そもそもクローゼットにドーナッツを保管するなんて事があるわけが無い。

「冗談はやめてーなー。で、どこにあるんや？」

「……………（クイツ）」

男は再び無言で指さした。しかし、今度は少々にこやかになる。
「すまないすまない」と軽く笑うかの様な頬笑みだった……のだが、指が示すのは入って来たドアだった。

「外かいな……………」

少々、笑顔を残念だと言うモノに崩すと、男は外に出て行った。
中に残った男は再びドーナッツを食べる作業に戻った。

——数分後。イラついた形相で男は戻って来た。勢いよく閉められるドアの音にも動じず、男はドーナッツを食べる事を止めない。

「おい！ ドーナッツどこやー!!」

「……………（クイツ）」

男は上を指さし、無表情だった顔をおどけた顔にしていた。

「天井にあるかーボケ!! どこやー!!」

「知らん」

「どこやねん！ 言えやー!!」

「……………ひょ？」

また おどけた顔で男は指を斜め上の方角に向ける。

「ざけんなやー!!」

怒られながらも男は 手に持つドーナッツを食べ終えた。

「早よお言えや! どこにあんねンドーナッツウ!!」

「へ? ドーナッツ?」

「今お前が食べてたヤツやー!!」

部屋の入り口で男が立っている。中からは怒声が響き渡っている事が容易に分かる。が、入口に立つ男はおかしくて笑ってしまっている。男は 中にいる2人組の男のマナージャーだ。30歳超えた大の大人のオッサン2人がドーナッツ1つでこんなにも面白おかしく出来るのかと、ふと仕事を忘れてしまっていた。

あと5分で本番だと呼びに来て、気がつくと、時計は10秒前となっていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6526y/>

怒る男と笑う男は笑わせる男と怒らせる男で二人とも笑わせる仕事をしている

2011年11月20日07時22分発行